

小学校の総合学習に年間を通して連携サポート

総合学習の一環としてスマート農業について学ぶ若狭町立鳥羽小学校の児童に対し、スマート農業等に関する授業やオンライン交流会を行う等年間を通して連携サポート。

○ 施策分類

食育、その他（その他）

○ きっかけ・背景、課題の把握

若狭町立鳥羽小学校では、総合学習の一環として、地域の農業者やJA福井県中央会、農機メーカー等の関係機関と連携し、スマート農業に関する授業を行う中で、児童達に日本の農業の現状や課題、今後主力となるスマート農業の事例等について学んでもらうため、福井県拠点に出前授業の依頼があった。

○ 取組の内容

令和6年4月、日本の農業の現状や課題、スマート農業の事例等を説明する授業を行った。その後、各児童が農に関する探究活動に取り組む中で生まれた、農林水産業についての質問に対し、県拠点が回答するオンライン交流会を9月に行い、また、福井県以外の農業を見たいとの希望を叶えるため、近畿農政局と調整し同局へ訪問することとなった。

○ 効果・成果、今後の方向性

スマート農業を学ぶ中で、子ども達の個々の学びをより深めていくことに県拠点も貢献することができた。来年度以降も継続して連携することで、我が国の未来を担う子ども達へ農業・農政を広めていきたい。



スマート農業等に関する授業の様子
(令和6年4月)



オンライン交流会の様子
(令和6年9月)

体制図

